

畜産技術員の養成・確保は

技術員は、時期が来たら検討したい



吉原 信雄 議員

畜産振興という面で考えると、指導体制の一層の強化、一貫した継続性のある指導体制の確立が大事であり、専門機関で必要な知識と技術を習得し、一定の実践期間を経て、畜産行政、関係機関等の分野で思う存分実力を発揮するような人材の確保が肝心であると思うが。

時期が来たら検討したい

町長

畜産振興を図る上で技術員による指導は不可欠なものである。現時点では考えていないが、その

時期が来たら検討していきたい。



品評会

畜産行政について

吉原議員

畜産農家の方々も、高齢化や後継者問題等から必要な技術継承という面で大きな課題が浮き上がっているが、現状をどのように認識しているか。

強化が図られている

町長

県の就農支援事業や本町の新規就農者支援事業を活用し、新規就農の推進を図っていききたい。また、一つのフロアで行政と農協が畜産振興に当たっている所は大変珍しく、お互いに連携が取られ、畜産農家への強化が図られていると思っています。

女性管理職の登用は

吉原議員

男女共同参画型社会、そのあり方及び女性管理職の登用について、どのような認識を持っているか。また、町長は助役時代を含めると本町のリーダーとして15年目に入り、その間に多くの有能な女性職員をご存知だと思っ

中には管理職にふさわしい方がいたと思うが、どのような考えか。

積極的に登用したい

町長

本町でも24年4月に男女共同参画基本計画を策定しており、女性管理職の登用については、男女共同参画の取り組みを伝える上でも重要なことであるが、管理職は非常に責任の重い役職でもある。また、過去にも有能な女性職員はいたと認識しており、意欲のある職員については男女を問わず中間管理職に任用しており、今後分けて隔てなく研修等に参加させ、その役割に込めようとする意欲と能力を持ち合わせている職員がいたら、登用すべきだと考えている。

町長の考えは

吉原議員

町長はあらゆる機会を通して住民の声を聞かれることが多いと思うが、多くの住民の声を町政に

生かしていく観点から、特に住民対話という点でどのような考えを持っているか。

必要不可欠であると認識している

町長

住民の方と直接会って要望を聞くことは大変重要なことであり、真摯に対応すべきである。対話は住民参加の町づくりを進めていくためにも有効な手段と考えており、そのことを町政に生かしていくことは、必要不可欠であると認識している。

語る会の開催は

吉原議員

町議会も「議会報告員会」を大崎地区と野方地区において開催し、厳しい意見も頂いたが、町長は町のトップとして町民の声を傾けることは大変大事なことであると思うが、「住民と町長の語る会」を開催する考えはないのか。

テーマを掲げながら取り組んでいきたい

町長

行政主導の地区座談会等は参加者が少ないのが現状であり、対話の必要性は十分認識しているのでも、いくつかのテーマを掲げながら、各種団体等の要望があれば出前講座という形で開催し、今後取り組んでいきたい。

